

第5回 JCHOりつりん病院地域協議会 議事録

開催日 平成30年10月4日(木) 15時30分～16時55分

開催場所 JCHOりつりん病院 本館3階会議室

出席者

- 院外・・虫本光徳(医師会)・横井徹(医療機関)・多田一夫(行政/保健所)・宝山秀逸(利用者/患者)
- 院内・・大森院長・大橋副院長・小西副院長・富木田事務長・軍神総看護師長・川畑事務長補佐(総務企画)

委員の変更について

高松市保健所地域医療医療対策室 : 岡谷 豊 → 多田 一夫

議事内容

1. あいさつ (病院長 大森浩二)

4月から前場院長の後を受け、院長を担当しております大森でございます。

今日は足元の悪い中お集まりいただきありがとうございます。

地域協議会は今回で5回目を迎えますが、地域の先生方、住民の方々に病院の現状を報告してご意見ご指導いただいて、地域貢献の活動をより良いものにしていく趣旨の会と認識しております。

まず、われわれの現状をお知らせして、ご意見を拝聴したいと思いますので何卒よろしくお願いいたします。

2. 議長選出

病院長を議長とする。(選出根拠⇒地域協議会設置要綱の第4条)

※出席者全員了承

3. 議題

(1) JCHOの取り組みと成果について (事務長 富木田 武)

※下記の内容について資料に沿って説明

地域の医療機関との連携(紹介率・逆紹介率)、救急医療・へき地医療への貢献、

地域包括支援センターの運営、在宅復帰の支援、認知症対策の取組、次世代の総合診療医の育成、看護師の特定行為研修の実施、質の高い看護教育の実施、4年連続の黒字経営

(2)患者動向・事業概況について（事務長 冨木田武）

※資料に沿って報告

（虫本委員）

資料の中の事業計画の数字は毎年作るのですか。

（冨木田事務長）

毎年作ります。

（虫本委員）

今までの数字を見て病院で作るのですか？

（冨木田事務長）

本部から黒字になるような計画を作成するよう指導があります。

（多田委員）

業務収支のところで、29年12月の減り幅が大きいのが気になるのですが。

（冨木田事務長）

28年度の10月以降患者数が増え、以降黒字経営を維持、29年度も黒字を推移できたことにより、計画より上乗せして支払った結果その部分がマイナスになっています。

（多田委員）

それ以前の黒字の部分がここに反映されてモチベーションに繋がっているということですね。

(3)りつりん病院の現状と取り組みについて（院長 大森浩二）

※資料に沿って報告

[3月15日開催 地域協議会からの課題]

①レスパイトケア入院 在宅(訪問看護)で勤めているか(横井委員)

60人ほどケアさせていただいているうちの約5%、7~8人の患者が何ヶ月かに1回ぐらい入院されています。訪問看護を勤めるときに必ずレスパイトの話はしているということです。

②介護認定審査会への貢献（虫本委員）

今年の審査会へは内科医師が参加させていただいております。

（虫本委員）

来年の4月に交代がありますのでまたお願いいたします。

③地域包括ケアシステムへの在宅医療などを通しての連携(岡谷委員)

→退院調整看護師が地域に出向いて貢献しています。

④診療報酬改定対策（大森）

地域包括ケア病棟入院料 1（2,558 点→2,738 点）

回復期リハビリ病棟入院料 3（旧 2：1,851 点→新 3：1,861 点）

同 1（2,085 点）に向けてリハ士増員を本部に申請中→増員承認

【報告事項】

①院長交代

②4 月以降の医師人事、10 月以降の医師人事

③4 月の事務職の転勤・退職

④情報セキュリティー 3つの系統の分離

⑤地域医療構想への対応（2025 対策）

⑥医師の働き方改革への対応

⑦特定行為看護師養成の為の研修開講

⑧香川大学卒前教育

⑨健康増進法の一部を改訂する法律（平成 30 年法律第 78 号）すなわち、受動喫煙対策

⑩医療機器整備

⑪IT 推進事業 電子カルテの更新と SE の外部委託

⑫JCHO 本部からの達成すべき課題への対応

⑬設備の陳旧化

【今後の課題】

①医師確保

JCHO 法による寄付行為の禁止

→ 本部から大学への技術指導料 顧問料の支出許可

→ 国立大学での受け入れ制度の提案

②資格職不足対策

募集の前倒し、労働環境の整備、収益増→賞与の満額支給

③DPC への移行 32 年度算入にむけて 31 年 9 月に申請、32 年 4 月算入

→ 日本経営社による導入支援 詳細不明コード回避の為、コーディングを意識した
病名登録の開始（10 月から）。後発品の積極的導入

④電子カルテの更新

⑤看護師宿舎の閉鎖と JCHO への返納

⑥高松市民病院移転の影響の分析

⑦建替え

(大森院長)

当院からの報告と取組みは以上となります。何かもっとうまいたらいい等ご意見ありませんでしょうか。

(虫本委員)

高松市民病院の影響ですが、琴平線の患者さんが今までりつりん病院に来ていた人が仏生山あたりで降りるんじゃないかという心配はしますね。電車で移動する人は。

(大森院長)

当院も電車に近いのが売りでしたが、一月しかたっていないのでどうでしょうか。

(大橋副院長)

以前アンケートをとった時、どういう経路で来ているかを調べましたが、20パーセント弱くらいの方が電車を使っているということで少ないと感じました。むしろ駐車場が狭いという意見が多くありました。そんなに大きい影響はないのかなとは思いますが。

(虫本委員)

りつりん病院はコトデンを降りたらすぐですし、JRの駅も近いので交通機関をもっとうまく利用できたらいいと思います。

(大森院長)

新駅が出来ますよね。市とコトデンがしている事ですけど、そこに横からバスが繋がってコトデンに乗せて仏生山の方に連れて行くという計画でしょうか。

(虫本委員)

どこに出来るんですか。

(多田委員)

仏生山と太田の間と、太田と三条の間です。

(大森院長)

東西をつなぐ幹線道路を完備して、その駅まで車で行ってキス&ライドで通勤や通院をしてもらう事を狙っているようです。高速道路の下や、サンメッセの周辺道を集めてみんなの病院(市民病院)に回すということのようですね。それをサイフォン原理でいってしまううちには誰も来なくなってしまうので、逆にうまく利用できたらいいのですけど。

(虫本委員)

どこの人間もそうでしょうけど、特に香川県は新しいものが好きだと思います。りつりん病院も新しくして、電車とJRを活用すればもっと収益が上がると思いますけど。

(大森院長)

夢のある話ではありますね。せっかくの地の利もありますので。前の土地買収の事もありますので、建替えは簡単ではないと思うんですけど。

市民病院については今のところ本格稼働はしていないと感ずますね。

軍神総看護師長はどう思われますか。

(軍神総看護師長)

駅から近いのでお年寄りでも歩いて行けて便利がよく、見た目もすごいきれいでした。

私の印象としては、患者さんそのものよりも職員(看護師)が来なくなった気がしています。パートや中途採用の人の応募がきていたのが、開院してからこなくなった事が気になっています。

(小西副院長)

以前、県立中央病院が新しく出来た時、中堅の有能な看護師が中央病院に流れてしまった事もありました。市民病院も医師の環境が良くなって気持ちがいいと言っていましたね。

当院も現状は駐車場の確保を何とかできないかなと思っています。

(大森院長)

ハード面については相当お金がかかることですので、その中でなんとか地域に貢献していくには、まず存続していかなければならないので、経営というのはこういうことも考えないといけないと学びました。

(横井委員)

春は診療報酬改定後、数字だけ見ると上向いているということですけど、医師も減員で、医師以外でも減っているようですので、人が集まってこないと疲れてしまうのかなと気になりました。

(大森院長)

ご指摘のとおり、疲れてくるのは怖いですね。

大学の方もいわゆる専門医、専修医のシステムが変わって昔のように医師はがしみたいな事が起こっているようです。入局者が極端に少なかったり。

どこの病院も抱えている問題だとは思いますが。

(虫本委員)

開業医も非常に専門家されて、糖尿病なら糖尿病、呼吸器なら呼吸器と。

患者さんは情報を集めて流れているかもしれませんね。

(大森院長)

多田さんはなにかございますか。

(多田委員)

頑張られているなという印象ですね。

どうしてもハード面でお金がかかってしまい、大きなウエイトを占めてしまうので、優先順位はつけざるを得ないと思いますが、老朽化のところはファシリティーマネジメントという言葉なんでしょうけど、財産のマネジメントをしていく必要性を感じま

した。

話は変わりますが、先ほど喫煙所を移すというお話がありましたけど、もうなくしてしまってもいいんじゃないかなと思ったりしました。

(大橋副院長)

前は敷地内禁煙で、喫煙所はなかったんですけど、どうしても患者さんが路上でポイ捨てをするという問題がありました。完全に一度に失くすとかえって周りに迷惑をかけてしまうこともあると思います。本当は無いほうが当然良いのですが、現実にはなかなか難しいと感じています。

(大森院長)

整形の患者さんはすごい元気でいきなりやめてくださいと言われても困るかもしれませんね。

(多田委員)

高松市民病院も数年前に敷地内完全禁煙にしているの、思い切ってもいいかもしれませんね。

(大森院長)

期待していた健康増進法の改定で完全禁煙にしてくれれば良かったのですが、但し書があり、受動喫煙対策を講じた屋外において喫煙場所を設けても構わないとなっています。ゆくゆくは完全禁煙を目指していきたいと思います。

(大森院長)

宝山さんはなにかございますか。

(宝山委員)

現状をお聞きして、病院経営の大変さがよくわかりました。

今の虫本先生から患者さんはどういう動向かという話がありましたけど

患者の立場からお話させてもらいますが、私が前にめまいがした時に、患者がまず何をするかというとネットを見るんですね。その時の印象、口コミにやっぱり最近の患者としてはすがりつくと思います。

ケーブルテレビで市民病院の事がずっと流れていますが、いつまで続くんでしょうか。市民病院だからですか。

(多田委員)

そうですね。市の広報番組です。

(宝山委員)

ずっと見ていたら洗脳されてしまいますね。

SEにお金がかかるとは思いますが、インパクトのあるホームページを作ってみてはどうでしょうか。

(大森院長)

貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘いただいたホームページを変えていって
アピールできるところをしていこうと思います。

(4) 公立・公的病院等を対象とした地域医療構想実現のための

会議について(院長 大森浩二) ※資料に沿って説明

(大森院長)

2025年における医療機関の役割についてのアンケート結果についてですが、
当院の病床数は今と同じ急性期 120 床と、回復期、包括も含んで 79 床の 199 床で
今と変えるつもりはないと報告しました。と言うのは、当院は全て急性期だったのを
回復期を先取りして 79 床にしているので、これ以上急性期を減らせないと強く主張
してきました。

4. 閉会のあいさつ (院長 大森浩二、副院長 大橋洋三)

(大森院長)

非常に長時間にわたってお付き合いいただきありがとうございました。
今日いただいた貴重なご意見を今後活かしていきたいと思います。
われわれにはこれをどういう風に反応したかを、ホームページに掲載する任務が
ありますので、お答えはそちらの方を見ていただけたらと思います。

(大橋副院長)

第 5 回目の地域協議会を開催させていただいて、病院は地域の中の存在ということ
を改めて感じています。4月に大森院長に代わって、細部にわたりの確な指示を出し
ておりますので、必ずもっと良い病院になっていくと思いますので、皆様ご支援よろ
しく願いいたします。

これで第5回地域協議会を終わりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

連絡事項 (事務長 富木田武)

次回の開催予定についてですが、年度で2回開催ということで、平成31年3月に
予定しております。期日が近づきましたらご連絡をいたしますので、ご出席の程
よろしく願いいたします。